

# 現代アメリカ大学院の評価研究

「教授陣の質」と「大学院教育の有効性」の指標による分析結果（その3）

—— 社会行動科学系領域の場合 ——

奥 川 義 尚

## 〈Summary〉

In this study, I assessed and ranked in the Field of the Social and Behavioral Sciences of American Graduate Schools using “Data-Based Assessment of Research-Doctorate Programs in the United States” published by National Academy Press in 2010.

When we scrutinized the data using the Index of the Scholarly Quality of Program Faculty, California Institute of Technology ranked 1<sup>st</sup>, Harvard University ranked 2<sup>nd</sup>, Stanford University ranked 3<sup>rd</sup>, Baylor University ranked 4<sup>th</sup>, University of California-Berkeley ranked 5<sup>th</sup>, and also scrutinized the data using the Index of the Effectiveness of the Program in Educating Research Scholars/Scientists, Baylor University ranked 1<sup>st</sup>, California Institute of Technology ranked 2<sup>nd</sup>, Stanford University ranked 3<sup>rd</sup>, University of Princeton ranked 4<sup>th</sup>, Harvard University ranked 5<sup>th</sup>.

## I. は じ め に

2012年に文部科学省から公表された「大学改革実行プラン」<sup>1)</sup>では、今日の日本は少子高齢化の進行や地域コミュニティの衰退、グローバル化によるボーダレス化、新興国の台頭による競争激化といった急激な社会の変化や、東日本大震災という国難に直面しており、このような状況において、社会の変革を担う人材育成、知的基盤の形成やイノベーションの創出など、「知の拠点」として大学がこの国の発展に果たすべき役割は極めて大きく多様であることを述べている。このプランは2つの大きな柱と8つの基本的な方向性から構成されており、1つ目の柱が、「激しく変化する社会における大学の機能の再構築」であり、1. 大学教育の質的転換、大学入試改革、2. グローバル化に対応した人材育成、3. 地域再生の核となる大学づくり（COC（Center of Community））構想の推進、4. 研究力強化（世界的な研究成果とイノベーションの創出）、を内容としている。2つ目の柱が、そのための「大学のガバナンスの充実・強化」であり、5. 国立大学改革、6. 大学改革を促すシステム・基盤整備、7. 財政基盤の確立とメリハリのある資金分配の実施（私学助成の改善・充実——私立大学の質の促進・向上を目指して——）、8. 大学の質保証の徹底推進（私立大学の質保証の徹底推進と確立（教学・経営の両面から））、を内容としている。この答申が公表されたのは、日本の高等教育のユニバーサル段階において学士課程教育の質の保証を担保するための大学評価が強く求められるようになってきているからに他ならない。

一方、アメリカにおける大学評価は、早くも 19 世紀前半からさまざまな組織や団体によって、それぞれの観点から大学の質的分類や評価が行われるようになったが、1925 年に公表されたヒューズの研究は<sup>2)</sup>、大学評価の本格的な試みといってよいだろう。アメリカ教育審議会の委託を受けてカーターがまとめたレポート（1966 年）は<sup>3)</sup>、当時 106 校にあった 29 課程にわたる 1,663 の専門課程を、(1) 大学院教育の有効性と (2) 大学院に所属する教授陣の質の 2 点から評価したものである。その後、同じ教育審議会の委託によりカーターとほぼ同一の方法を用いて、大学院教育を評価したルースとアンダーソンのレポート（1970 年）<sup>4)</sup> や専門大学院における職業専門教育を評価したマグリースとプラスのレポート（1973 年）<sup>5)</sup> など、いくつもの継続研究が行われ、1982 年には研究協議会連合理事会の委託を受けて 1980 年に発足した全米大学院教育質的評価委員会が実施した『アメリカにおける研究博士プログラム評価』<sup>6)</sup> が刊行された。1995 年には『アメリカにおける研究博士プログラム——連続性と変容』<sup>7)</sup> が刊行された。これらの統計的データの再解析による評価や、両資料を使用した時系的評価<sup>8)</sup> は先行研究として実施されている。

また 2010 年に刊行された『アメリカにおける研究博士プログラムのデータベース評価』(Jeremiah P. Ostriker, Charlotte V. Kuh, and James A. Voytuk (eds.). *A Data- Based Assessment of Research-doctorate Programs in the United States*, National Academy Press. (2010)) も、1980 年調査及び 1995 年調査の継続研究として、同じ研究協議会連合理事会が大学評価の主体となって計画し、その委託を受けて、新たに設置された全米研究博士プログラム研究委員会が 2005 年、2006 年に実施した評価研究である。この 2010 年度調査では、221 の大学及び連合大学に設置されている 59 の専門分野、計 4,838 の研究博士プログラムが評価の対象になっている。評価対象のプログラム数は 1995 年調査よりも 33% 以上多い。また約 10 万 4 千人以上の大学教員がこれらのプログラムに所属しており、それゆえにこの調査は、文理系の Ph.D. 学位を授与する全米の研究博士プログラムをほぼ網羅しているといえる。

本稿では、2010 年に刊行された『アメリカにおける研究博士プログラムのデータベース評価』の資料の統計的データの再解析により、現代アメリカ大学院の社会行動科学系領域を「教授陣の質」と「大学院教育の有効性」の指標を使用して評価分析を試みた。

## II. 使用した資料の説明

本稿で使用したデータである『アメリカにおける研究博士プログラムのデータベース評価』では、比較的優秀な大学院教育を行っている 221 の大学及び連合大学の 6 領域、59 の専門分野、計 4,838 の専門課程の研究博士プログラムについての評価をまとめている。評価の対象となった 59 の専門分野のなかには、農業科学系では、畜産学、昆虫学、食品科学、森林・森林科学、栄養学、植物学の 6 分野、生物学・健康科学系では、生化学・実物生理学・構造生物学、生物学・統合生物学・統合生医科学、細胞・発生生物学、生態学・生物進化論、遺伝学・ジェノミクス、

免疫学・伝染病学、運動学、細菌学、神経科学・神経生物学、看護学、薬理学・毒物学・環境健康学、生理学、公衆衛生学の13分野、工学系では、航空宇宙工学、生物医学工学・生物工学、化学工学、基盤・環境工学、コンピュータ工学、電気・コンピュータ工学、材料・工学科学、工学・材料科学、機械工学、オペレーションズリサーチ・システム工学・産業工学の10分野、人文科学系では、アメリカ研究、古典学、比較文学、英語・英文学、仏語・仏文学、独語・独文学、歴史学、美術史・建築学・考古学、言語・社会・文化、音楽学、哲学、宗教学、西／葡語・西／葡文学、演劇・演技研究の14分野、物理学・数学系では、応用科学、天文物理学・天文学、化学、コンピュータ科学、地球科学、数学、海洋学・気象科学・気象学物理学、物理学、統計学・確率学の9分野、社会・行動科学系では、農学・人的資源経済学、人類学、コミュニケーション論、経済学、地理学、言語学、政治学、心理学、パブリックアフェアーズ・公共政策・公共行政、社会学の10分野が、それぞれ含まれる。ただし、この評価ではコンピュータ工学、材料・工学科学、言語・社会・文化の3分野はランキング評価の対象とはなっていない。この資料は10のカテゴリーに分類され、それらは一般的情報、Regression-based Rankings（重回帰分析ランキング）、Survey-based Rankings（調査ランキング）、Dimensional Rankings（複合ランキング）、研究活動、学生支援・成果、多様性、他の全般的なランキング尺度、ランキングに使用されていないデータ、学生生活などとなっている。

なお評価指標は、調査対象になった大学教授陣の研究能力を示す「教授陣の質」<sup>9)</sup>の指標群、また各専門分野の「大学院生の特質」<sup>10)</sup>を示す指標群、プログラムの特質などの「大学院教育の有効性」<sup>11)</sup>を示す指標群など、いずれも7指標によって構成されている。

### Ⅲ. 使用した指標の説明

本稿は、これらの指標のうち次の2つの指標をとりあげた。まず大学院の研究生産性をとらえる指標として「教授陣の質」を、また大学院の教育生産性をとらえる指標として「大学院教育の有効性」を使用した。なお各指標の説明は次の通りである。

①「教授陣の質」－この指標は、i. 教授1人当たりの著書の数、ii. 論文引用数（人文科学系を除く）、iii. 外部資金を獲得した教授陣の割合、iv. 学際的研究への関与、v. 教授陣の人種的・民族的多様性、vi. 教授陣の男女比率、vii. 学術的褒賞や名声による教授陣の評価の7指標を、評定者が6段階評価した結果を重回帰分析して算出された上位5%のランキングを標準化して得た数値である。

②「大学院教育の有効性」－この指標は、i. 過去5年間の博士号取得者の平均人数、ii. 期間内に博士課程を修了した学生数（人文科学系以外は6年、人文科学系は8年）、iii. 学位取得年数、iv. 修了後の就職（アカデミックな分野での就職または博士課程取得後の特別奨学金受給者）、v. 個人研究室のある学生の割合、vi. 大学等による健康保険料受給者の割合、vii. 大学等による学生支援受給者数の7指標を、評定者が6段階評価した結果を重回帰分析して算出され

た上位 5% のランキングを標準化して得た数値である。

#### Ⅳ. 「教授陣の質」と「大学院教育の有効性」の指標による評価結果

表 1 は、研究能力を示す評価指標である「教授陣の質」を使用して社会行動科学系領域の分析結果をまとめたものである。表 1 からあきらかな様にカルフォルニア工科大学、が第 1 位にランクされている。それに続きハーバード大学、スタンフォード大学、ベイラー大学、カリフォルニア大学（バークリー校）、マサチューセッツ工科大学、ペンシルベニア大学、ジョンズ・ホプキンス大学、プリンストン大学、ミシガン大学（アンアーバー校）、コンロビア大学（ニューヨーク・シティ校）、イエール大学、デューク大学、ウイスコンシン大学（マディソン校）、シカゴ大学、コーネル大学、ローチェスター大学、カリフォルニア大学（バークリー校、サンフランシスコ校）、ノースウエスタン大学、ダートマス大学の順で上位 20 校が序列化されている。なおカルフォルニア工科大学は経済学の分野のみで、ベイラー大学は心理学と社会学の分野のみで、カリフォルニア大学（バークリー校、サンフランシスコ校）は人類学の分野のみで、ダートマス大学は心理学の分野のみで上位にランクされている。

また専門分野ごとにみると農業・人的資源経済学の分野ではカルフォルニア大学（バークリー校）が、人類学の分野ではペンシルバニア州立大学が、コミュニケーション論の分野ではスタンフォード大学、オハイオ州立大学（メイン・キャンパス校）が、経済学の分野ではカリフォルニア工科大学、ハーバード大学、カリフォルニア大学（バークリー校）、プリンストン大学、シカゴ大学、マルケット大学が、地理学の分野ではボストン大学が、言語学の分野で分野ではジョン・ホプキンス大学が、政治学の分野ではハーバード大学、スタンフォード大学が、心理学の分野ではハーバード大学が、公共政策・行政学の分野ではジョンズ・ホプキンス大学が、社会学の分野ではペンシルバニア大学、ミシガン大学（アンアーバー校）、デューク大学が、それぞれ第 1 位を占めている。

表 1. 「教授陣の質」の指標による評価結果

順位	大 学 名	分 野 別 得 点										平均得点
		農業・人的資源経済学	人類学	コミュニケーション論	経済学	地理学	言語学	政治学	心理学	公共政策・行政学	社会学	
1	カリフォルニア工科大学	—	—	—	65	—	—	—	—	—	—	64.6
2	ハーバード大学	—	63	—	65	—	60	65	65	62	61	63.0
3	スタンフォード大学	—	60	65	63	—	60	65	64	—	63	62.8
4	ベイラー大学	—	—	—	—	—	—	—	63	—	62	62.5
5	カリフォルニア大学（バークリー校）	64	60	—	65	61	62	62	62	—	62	62.2
6	マサチューセッツ工科大学	—	—	—	—	—	60	64	63	—	—	62.2
7	ペンシルバニア大学	—	—	62	63	—	62	57	64	62	66	62.2
8	ジョンズ・ホプキンス大学	—	60	—	60	—	64	60	64	64	63	62.1

9	プリンストン大学	-	60	-	65	-	-	61	60	60	62	61.3
10	ミシガン大学 (アンアーパー校)	-	58	62	60	-	55	64	62	62	66	61.2
11	コロンビア大学 (ニューヨーク・シティ校)	-	60	-	61	-	-	60	61	-	64	61.2
12	イエール大学	-	61	-	62	-	60	62	62	-	60	61.2
13	デューク大学	-	50	-	61	-	-	63	63	-	66	60.7
14	ウィスコンシン大学 (マディソン校)	60	63	60	63	62	60	57	60	-	60	60.6
15	シカゴ大学	-	60	-	65	-	62	55	58	60	62	60.3
16	コーネル大学	58	60	63	60	-	60	60	60	-	60	60.2
17	ローチェスター大学	-	-	-	60	-	-	60	60	-	-	60.0
18	カリフォルニア大学 (バークリー校、サンフランシスコ校)	-	60	-	-	-	-	-	-	-	-	60.0
19	ノース・ウェスタン大学	-	62	60	61	-	60	60	59	-	57	59.9
20	ダートマス大学	-	-	-	-	-	-	-	60	-	-	59.9
21	南カリフォルニア大学	-	-	60	60	57	61	57	62	57	60	59.1
22	ニューヨーク大学	-	59	57	63	-	55	64	60	61	53	59.0
23	ケーズ・ウェスタン・リザーブ大学	-	60	-	-	-	-	-	58	-	59	59.0
24	カリフォルニア連合大学	-	59	-	-	-	-	-	-	-	-	59.0
25	ワシントン大学 (セントルイス校)	-	58	-	60	-	-	58	58	-	-	58.5
26	オレゴン州立大学	58	-	-	58	58	-	-	-	-	-	58.0
27	テキサス大学 (サウスウェスタン医学センター・ダラス)	-	-	-	-	-	-	-	58	-	-	58.0
28	アリゾナ大学	-	58	64	55	53	56	56	62	61	56	57.9
29	カリフォルニア大学 (デービス校)	62	58	-	56	57	-	63	62	-	47	57.9
30	コロラド大学 (ボルダー校)	-	60	57	56	62	62	51	59	-	54	57.5
31	アイダホ大学	-	-	-	-	57	-	-	-	-	-	57.5
32	ブラウン大学	-	51	-	62	-	-	55	62	-	56	57.2
33	ジョージア工科大学	-	-	-	-	-	-	-	58	56	-	57.0
34	メリーランド大学 (カレッジ・パーク校)	62	-	39	59	62	63	58	51	57	60	56.9
35	オハイオ州立大学 (メイン・キャンパス校)	56	56	65	52	57	52	58	60	54	59	56.8
36	ジョージア州立大学 (ジョージア・工科大学)	-	-	-	-	-	-	-	-	57	-	56.5
37	カリフォルニア大学 (ロサンゼルス校)	-	57	-	52	62	54	54	63	-	47	55.6
38	カリフォルニア大学 (サン・ディエゴ校)	-	54	56	61	-	51	63	60	-	42	55.5
39	ニューヨーク州立大学 (ストーニー・ブルック校)	-	62	-	52	-	52	60	58	-	47	55.5
40	ニュー・オリンズ大学	-	-	-	-	-	-	-	55	-	-	55.3
41	ペンシルバニア州立大学	46	64	56	56	57	-	63	57	32	64	55.0
42	ワシントン大学	-	57	56	50	56	45	60	58	-	53	54.5
43	カーネギー・メロン大学	-	-	-	54	-	43	-	57	64	-	54.4
44	アリゾナ州立大学	-	62	50	62	57	-	44	62	43	-	54.1
45	イリノイ大学 (アーバナシャンペイン校)	52	52	53	42	57	61	60	59	-	49	53.8
46	エモリ大学	-	58	-	46	-	-	61	58	-	45	53.8
47	ロードアイランド大学	60	-	-	-	-	-	-	48	-	-	53.7
48	アイオワ州立大学	-	-	-	60	-	-	-	54	-	47	53.7
49	カリフォルニア大学 (サンタ・バーバラ校)	-	54	61	50	62	47	46	62	-	45	53.6
50	ジョージ・ワシントン大学	-	-	-	45	-	-	64	48	57	-	53.5
51	アラバマ大学 (メイン・キャンパス校)	-	-	56	-	-	-	51	54	-	-	53.5
52	サン・ディエゴ州立大学 (UC サン・ディエゴ校)	-	-	-	-	-	53	-	54	-	-	53.5
53	サン・ディエゴ州立大学 (UC サンタ・バーバラ校)	-	-	-	-	53	-	-	-	-	-	53.4
54	ボストン大学	-	50	-	59	63	58	44	59	-	41	53.4
55	タフツ大学	-	-	-	-	-	-	-	53	-	-	53.2
56	カリフォルニア大学 (アービン校)	-	54	-	53	-	-	55	54	49	54	53.2
57	ピッツバーグ大学 (ピッツバーグ・キャンパス校)	-	40	49	56	-	-	57	64	-	-	53.2
58	ラトガーズ州立大学 (ニュー・ブランズウィック校)	-	53	60	49	50	45	47	57	57	60	53.1
59	シラキュース大学 (メイン・キャンパス校)	-	38	57	61	50	-	41	61	62	50	52.6
60	ノース・カロライナ大学 (チャペル・ヒル校)	-	37	51	44	53	-	58	59	55	64	52.6
61	ニューヨーク州立大学 (ビンガムトン校)	-	62	-	45	-	-	64	55	-	36	52.5
62	パーデュー大学 (メイン・キャンパス校)	47	-	59	55	-	58	49	49	-	48	52.2
63	クラーク大学	-	-	-	-	58	-	-	46	-	-	52.2
64	アラバマ大学 (バーミングハム校)	-	-	-	-	-	-	-	59	-	45	52.1
65	ワイオミング大学	-	-	-	54	-	-	-	50	-	-	52.0
66	カリフォルニア大学 (リバーサイド校)	-	46	-	45	-	-	61	55	-	53	52.0
67	ニュー・メキシコ大学 (メイン・キャンパス校)	-	61	38	54	-	49	54	52	-	56	51.9
68	テキサス農業・工業大学	49	55	56	48	52	-	61	51	-	43	51.7
69	ミシガン州立大学	56	46	62	50	47	38	58	58	-	51	51.6
70	フロリダ州立大学	-	-	40	48	40	-	59	64	52	60	51.6
71	オレゴン大学	-	58	40	54	61	48	50	61	-	41	51.5
72	オーバーン大学	-	-	-	59	-	-	-	44	-	-	51.1
73	バンダービルト大学	-	-	-	50	-	-	53	62	-	38	50.8
74	インディアナ大学 (ブルーミントン校)	-	52	51	42	57	47	59	54	58	37	50.8
75	ミズーリ大学 (コロンビア校)	41	58	60	46	-	-	59	55	-	37	50.7
76	バーモント大学	-	-	-	-	-	-	-	51	-	-	50.7
77	マルケット大学	-	-	-	65	-	-	-	35	-	-	50.2

78	カリフォルニア大学 (サンフランシスコ校)	-	-	-	-	-	-	-	-	50	50.1	
79	ワシントン州立大学	-	54	57	45	-	-	52	40	-	52	50.1
80	テキサス大学 (オースチン校)	-	43	55	48	40	50	49	49	50	60	49.3
81	マイアミ大学 (UM)	-	-	34	-	-	-	39	61	-	62	49.2
82	アイオワ大学	-	30	51	53	53	32	57	64	-	54	49.2
83	ボーリング・グリーン州立大学	-	-	43	-	-	-	-	44	-	61	49.1
84	ジョージタウン大学	-	-	-	53	-	48	46	-	-	-	49.0
85	南メソディスト大学	-	57	-	55	-	-	-	36	-	-	49.0
86	ミネソタ大学 (ツイン・シティズ校)	54	34	46	60	30	43	58	62	-	54	49.0
87	コロラド州立大学	62	-	-	-	-	-	-	35	-	-	48.8
88	セントラル・フロリダ大学	-	-	-	-	-	-	-	44	53	-	48.8
89	イリノイ大学 (シカゴ校)	-	41	-	58	-	-	39	52	59	43	48.6
90	ケンタッキー大学	30	47	59	45	48	-	57	52	59	40	48.4
91	サウス・カロライナ大学 (コロンビア校)	-	-	44	44	56	-	48	53	-	46	48.2
92	コロラド大学 (デンバー校・健康科学センター)	-	-	-	-	-	-	-	-	41	55	48.2
93	ボストンカレッジ	-	-	-	53	-	-	41	59	-	40	48.1
94	インディアナ大学 (パデュー校)	-	-	-	-	-	-	-	48	-	-	48.1
95	ルイスビル大学	-	-	-	-	-	-	-	53	43	-	47.9
96	ニューヨーク州立大学 (オールバニー校)	-	51	-	35	-	-	36	54	56	56	47.9
97	ユニフォーム・サービス健康科学大学	-	-	-	-	-	-	-	48	-	-	47.9
98	マサチューセッツ大学 (アムハースト校)	56	46	43	39	-	62	43	47	-	46	47.7
99	ジョージア州立大学	-	-	37	56	-	-	47	54	-	44	47.6
100	ジョージア大学	42	56	57	42	47	37	45	45	55	49	47.6
101	メリーランド大学 (ボルティモア校)	-	-	-	-	-	-	-	48	47	-	47.6
102	ニューヨーク州立大学 (バッファロー校)	-	38	59	37	51	47	50	55	-	43	47.4
103	クレムソン大学	50	-	-	-	-	-	-	44	-	-	47.3
104	コネチカット大学	49	52	59	50	31	41	44	59	-	40	47.1
105	レンセラー工業大学	-	-	43	51	-	-	-	-	-	-	47.1
106	ミシシッピ州立大学	-	-	-	-	-	-	-	-	38	56	47.0
107	バージニア工業州立大学	50	-	-	-	-	-	-	50	45	40	46.2
108	ケント州立大学 (メイン・キャンパス校)	-	61	34	-	42	-	-	50	-	45	46.2
109	ニューヨーク市立大学 (グランド・センター校)	-	50	-	47	-	50	43	47	-	40	46.2
110	バージニア大学	-	31	-	50	-	-	46	62	-	40	45.6
111	ライト州立大学 (メイン・キャンパス校)	-	-	-	-	-	-	-	45	-	-	45.3
112	ブランダイズ大学	-	35	-	57	-	-	36	54	-	43	45.2
113	ノース・ダコタ州立大学 (メイン・キャンパス校)	-	-	40	-	-	-	-	51	-	-	45.0
114	デラウェア大学	-	-	-	36	-	58	38	54	43	41	45.0
115	ユタ州立大学	-	-	-	47	-	-	-	46	-	41	44.9
116	ネブラスカ大学 (リンカーン校)	35	-	53	38	27	-	47	52	-	62	44.9
117	フロリダ大学	32	56	49	44	41	32	48	58	-	42	44.9
118	テンブル大学	-	33	53	30	-	-	54	60	-	38	44.8
119	オハイオ大学 (メイン・キャンパス校)	-	-	41	-	-	-	-	48	-	-	44.7
120	クラークソン州立大学	-	-	-	45	-	-	-	-	-	-	44.5
121	ルイジアナ州立大学農業・工業カレッジ	35	-	41	40	46	-	50	45	-	53	44.4
122	カンザス州立大学	54	-	-	42	50	-	-	37	-	38	44.3
123	カンザス大学	-	41	41	37	55	49	44	49	-	38	44.3
124	ユタ大学	-	57	38	34	51	-	37	49	-	-	44.2
125	ノース・イースタン大学	-	-	-	-	-	-	34	51	41	51	44.1
126	ニュー・ハンプシャー大学	-	-	-	35	-	-	-	32	-	65	44.1
127	バージニア・コモンウェルス大学	-	-	-	-	-	-	-	49	39	-	43.9
128	カリフォルニア大学 (サンタ・クルス校)	-	47	-	53	-	39	-	42	-	37	43.6
129	メンヒス大学	-	-	39	-	-	-	-	49	-	-	43.6
130	テネシー大学	-	42	54	46	47	-	38	38	-	39	43.5
131	プリンマーカレッジ	-	-	-	-	-	-	-	43	-	-	43.4
132	クレアモント大学院大学	-	-	-	46	-	-	36	48	-	-	43.2
133	ライス大学	-	34	-	39	-	37	63	41	-	-	42.8
134	マイアミ大学 (MU)	-	-	-	-	-	-	-	43	-	-	42.8
135	テキサス大学 (ダラス校)	-	-	-	-	-	-	-	50	36	-	42.6
136	ハワイ大学 (マノア校)	-	54	49	34	50	36	32	47	-	38	42.5
137	アクロン大学	-	-	-	-	-	-	-	38	42	47	42.4
138	ブリガムヤング大学	-	-	-	-	-	-	-	41	-	43	42.4
139	南イリノイ大学 (カーボンデール校)	-	47	32	43	51	-	41	39	-	42	42.2
140	アラスカ大学 (フェアバンクス校)	-	42	-	-	-	-	-	-	-	-	42.0
141	ニューメキシコ州立大学 (メイン・キャンパス校)	-	-	29	-	-	-	-	55	-	-	42.0
142	クリーヴランド州立大学	-	-	-	-	-	-	-	-	42	-	41.9
143	ノートルダム大学	-	-	-	-	-	-	44	41	-	40	41.6
144	イリノイ工科大学	-	-	-	-	-	-	-	42	-	-	41.5
145	ドレクセル大学	-	-	-	34	-	-	-	49	-	-	41.5
146	ウィスコンシン大学 (ミルウォーキー校)	-	41	-	42	35	-	50	39	-	-	41.4



147	オールド・ドミンゴ大学	-	-	-	-	-	-	38	49	37	-	41.3
148	ローマ・リンダ大学	-	-	-	-	-	-	-	41	-	-	41.2
149	ウェイン大学	-	46	38	39	-	-	41	46	-	38	41.2
150	フロリダ国際大学	-	-	-	39	-	-	41	48	42	36	41.1
151	アーカンサス大学 (メイン・キャンパス校)	-	-	-	-	-	-	-	38	44	-	41.0
152	サウス・フロリダ大学	-	38	40	-	-	30	-	56	-	-	41.0
153	テキサス・クリスチャン大学	-	-	-	-	-	-	-	41	-	-	40.8
154	ノース・テキサス大学	-	-	-	-	-	-	50	32	-	40	40.6
155	ノース・カロライナ州立大学	-	-	-	50	-	-	-	36	32	44	40.4
156	オクラホマ大学 (ノーマン校)	-	38	58	35	24	-	38	44	-	44	40.2
157	テキサス工科大学	-	-	-	-	-	-	42	38	-	-	40.0
158	ミズーリ大学 (カンザスシティ校)	-	-	-	36	-	-	-	40	43	-	39.8
159	シンシナティ大学 (メイン・キャンパス校)	-	-	-	-	34	-	38	48	-	-	39.8
160	フロリダ・アトランティック大学	-	-	-	-	-	-	-	47	33	-	39.7
161	ミシシッピ大学	-	-	-	38	-	-	50	31	-	-	39.6
162	ツレーイン大学	-	42	-	-	-	-	-	38	-	-	39.6
163	リーハイ大学	-	-	-	32	-	-	-	47	-	-	39.6
164	ロヨラ大学 (シカゴ校)	-	-	-	-	-	-	39	39	-	37	38.8
165	ラトガーズ州立大学 (ニュージャージー・キャンパス校)	-	-	-	-	-	-	-	39	-	-	38.8
166	ヒューストン大学	-	-	-	40	-	-	32	45	-	-	38.7
167	アメリカン・カトリック大学	-	-	-	-	-	-	35	42	-	-	38.3
168	ミズーリ大学 (セントルイス校)	-	-	-	-	-	-	40	36	-	-	38.1
169	フォードハム大学	-	-	-	32	-	-	-	44	-	38	37.9
170	トレド大学	-	-	-	-	-	-	-	38	-	-	37.8
171	ノーザン・イリノイ大学	-	-	-	29	-	-	-	46	-	-	37.7
172	アメリカン大学	-	28	-	39	-	-	36	34	49	-	37.2
173	ウェスタン・ミシガン大学	-	-	-	35	-	-	34	40	39	36	36.7
174	ノース・ダコタ大学 (メイン・キャンパス校)	-	-	-	-	-	-	-	37	-	-	36.7
175	オクラホマ州立大学 (メイン・キャンパス校)	32	-	-	35	34	-	-	39	-	38	35.6
176	サザン・ミシシッピ大学	-	-	34	-	-	-	-	36	-	-	35.1
177	ハワード大学	-	-	31	-	-	-	34	39	-	-	34.6
178	ネバダ大学 (リノ校)	-	30	-	-	-	-	32	41	-	-	34.3
179	アデルヒイ大学	-	-	-	-	-	-	-	34	-	-	33.8
180	ダラス大学	-	-	-	-	-	-	29	-	-	-	29.2
181	ドゥッケン大学	-	-	-	-	-	-	-	29	-	-	29.2
182	フロリダ工科大学	-	-	-	-	-	-	-	29	-	-	29.2

表2は、教育能力を示す評価指標である「大学院教育の有効性」の指標を使用してアメリカ大学院の社会行動科学系領域を序列化したものである。表からあきらかなようにベイラー大学が第1位にランクされている。それに続きカリフォルニア工科大学、スタンフォード大学、プリンストン大学、ハーバード大学、カリフォルニア大学 (ロサンゼルス校)、マサチューセッツ工科大学、イエール大学、シカゴ大学、カリフォルニア大学 (バークリー校)、カリフォルニア大学 (バークリー校、サンフランシスコ校)、ミシガン大学 (アンアバー校)、コンロビア大学 (ニューヨーク・シティ校)、ダートマス大学、フロリダ工科大学、テキサス・クリスチャン大学、トレド大学、ワシントン大学 (セントルイス校)、オーバーン大学、ボーリング・グリーン州立大学の順で上位20校が序列化されていることがわかる。なおベイラー大学は心理学と社会学の分野のみで、カリフォルニア工科大学は経済学の分野のみで、マサチューセッツ工科大学は言語学、政治学、心理学の分野のみで、カリフォルニア大学 (バークリー校、サンフランシスコ校) は人類学の分野のみで、ダートマス大学、フロリダ工科大学、テキサス・クリスチャン大学、トレド大学は心理学の分野のみで、オーバーン大学は経済学と心理学の分野のみ、ボーリング・グリーン州立大学はコミュニケーション論、心理学、社会学の分野のみで上位にランクされている。

学問分野別にみると農業・人的資源経済学の分野ではカンザス州立大学が、人類学の分野ではスタンフォード大学、ハーバード大学、コーネル大学、ペンシルバニア州立大学、テネシー大学、

ユタ大学が、コミュニケーション論の分野ではオレゴン大学が、経済学の分野ではカリフォルニア工科大学、プリンストン大学、ハーバード大学、ドレクセル大学、サウス・カロライナ大学（コロンビア校）、リーハイ大学、マルケット大学が、地理学の分野ではカンザス州立大学、ウィスコンシン大学（ミルウォーキー校）、ケンタッキー大学、サウス・カロライナ大学（コロンビア校）、アリゾナ大学、オクラホマ州立大学（メインキャンパス校）が、言語学の分野ではカリフォルニア大学（ロサンゼルス校）、カーネギー・メロン大学、サウス・フロリダ大学が、政治学の分野ではスタンフォード大学、ローチェスター大学、ライス大学、ペンシルバニア州立大学、ウィスコンシン大学（ミルウォーキー校）、フロリダ州立大学、アリゾナ大学、ミシシッピ大学、カンザス大学、インディアナ大学（ブルーミントン校）が、心理学の分野ではプリンストン大学が、公共政策・行政学の分野ではノース・カロライナ州立大学が、社会学の分野ではベイラー大学が、それぞれ第1位を占めている。

表2. 「大学院教育の有効性」の指標による評価結果

順位	大学名	分 野 別 得 点										平均得点
		農業・人的資源経済学	人類学	コミュニケーション論	経済学	地理学	言語学	政治学	心理学	公共政策・行政学	社会学	
1	ベイラー大学	—	—	—	—	—	—	61	—	71	—	66.2
2	カリフォルニア工科大学	—	—	—	63	—	—	—	—	—	—	63.4
3	スタンフォード大学	—	62	61	62	—	61	62	61	—	64	61.9
4	プリンストン大学	—	61	—	63	—	—	61	62	62	64	61.9
5	ハーバード大学	—	62	—	63	—	61	61	59	63	60	61.1
6	カリフォルニア大学（ロサンゼルス校）	—	60	—	60	60	62	61	61	—	60	60.6
7	マサチューセッツ工科大学	—	—	—	—	—	61	60	60	—	—	60.4
8	イェール大学	—	60	—	61	—	60	60	61	—	60	60.4
9	シカゴ大学	—	60	—	60	—	60	60	61	61	60	60.2
10	カリフォルニア大学（バークリー校）	61	60	—	60	60	60	60	60	—	60	60.1
11	カリフォルニア大学（バークリー校、サンフランシスコ校）	—	60	—	—	—	—	—	—	—	—	60.0
12	ミシガン大学（アンアバー校）	—	60	60	60	—	60	60	60	60	60	60.0
13	コロンビア大学（ニューヨーク・シティ校）	—	60	—	60	—	—	60	60	—	60	60.0
14	ダートマス大学	—	—	—	—	—	—	—	60	—	—	60.0
15	フロリダ工科大学	—	—	—	—	—	—	—	60	—	—	60.0
16	テキサス・クリスチャン大学	—	—	—	—	—	—	—	60	—	—	60.0
17	トレド大学	—	—	—	—	—	—	—	60	—	—	60.0
18	ワシントン大学（セントルイス校）	—	61	—	61	—	—	60	58	—	—	59.9
19	オーバーン大学	—	—	—	62	—	—	—	57	—	—	59.7
20	ボーリング・グリーン州立大学	—	—	56	—	—	—	—	60	—	63	59.7
21	ニュー・オリンズ大学	—	—	—	—	—	—	—	59	—	—	59.3
22	エモリ大学	—	60	—	57	—	—	61	57	—	62	59.3
23	ノース・ダコタ州立大学（メイン・キャンパス校）	—	—	57	—	—	—	—	61	—	—	59.1
24	インディアナ大学（パデュー校）	—	—	—	—	—	—	—	59	—	—	59.0
25	ノース・ダコタ大学（メイン・キャンパス校）	—	—	—	—	—	—	—	59	—	—	59.0
26	ジョージア工科大学	—	—	—	—	—	—	—	55	63	—	58.9
27	カーネギー・メロン大学	—	—	—	62	—	62	—	59	53	—	58.8
28	ジョージア州立ジョージア・工科大学	—	—	—	—	—	—	—	59	—	—	58.7
29	クレムソン大学	61	—	—	—	—	—	—	56	—	—	58.7
30	ネブラスカ大学（リンカーン校）	60	—	61	60	50	—	59	59	—	61	58.7
31	カンザス州立大学	62	—	—	56	62	—	—	56	—	55	58.1
32	レンセラー工業大学	—	—	56	60	—	—	—	—	—	—	57.9
33	ローチェスター大学	—	—	—	53	—	—	62	58	—	—	57.8
34	ユニフォーム・サービス健康科学大学	—	—	—	—	—	—	—	58	—	—	57.7



35	ラトガーズ州立大学 (ニュワーク・キャンパス校)	—	—	—	—	—	—	58	—	—	57.5
36	デューク大学	—	59	—	52	—	—	59	58	—	57.1
37	コーネル大学	59	62	46	58	—	55	56	58	—	56.8
38	ライス大学	—	60	—	53	—	55	62	54	—	56.8
39	アイオワ州立大学	—	—	—	53	—	—	—	60	—	56.7
40	アラスカ大学 (フェアバンクス校)	—	57	—	—	—	—	—	—	—	56.5
41	ペンシルバニア州立大学	55	62	56	48	53	—	62	59	43	56.3
42	アーカンサス大学 (メイン・キャンパス校)	—	—	—	—	—	—	—	59	53	56.3
43	アラバマ大学 (メイン・キャンパス校)	—	—	56	—	—	—	53	59	—	55.9
44	ミシシッピ州立大学	—	—	—	—	—	—	—	63	49	55.8
45	シラキュース大学 (メイン・キャンパス校)	—	51	61	48	61	—	49	53	63	55.5
46	シンシナティ大学 (メイン・キャンパス校)	—	—	—	—	61	—	48	58	—	55.5
47	ノートルダム大学	—	—	—	—	—	—	55	59	—	55.4
48	ドレクセル大学	—	—	—	63	—	—	—	48	—	55.3
49	テキサス工科大学	—	—	—	—	—	—	58	52	—	55.1
50	テネシー大学	—	62	46	61	60	—	57	55	—	55.0
51	デラウェア大学	—	—	—	45	—	51	61	49	58	54.9
52	サン・ディエゴ州立大学 (UC サン・ディエゴ校)	—	—	—	—	—	57	—	52	—	54.9
53	フロリダ・アトランティック大学	—	—	—	—	—	—	—	56	53	54.7
54	ペンシルバニア大学	—	—	56	49	—	53	47	52	56	54.6
55	ノース・カロライナ大学 (チャペル・ヒル校)	—	53	61	57	44	—	60	39	63	54.5
56	ニューヨーク州立大学 (ストーニー・ブルック校)	—	60	—	50	—	48	61	59	—	54.2
57	カリフォルニア大学 (デービス校)	57	57	—	48	56	—	61	50	—	54.1
58	アイダホ大学	—	—	—	—	54	—	—	—	—	54.1
59	オレゴン州立大学	57	58	—	42	59	—	—	—	—	54.0
60	ミシガン州立大学	51	60	55	36	53	60	60	59	—	53.9
61	カリフォルニア大学 (リバーサイド校)	—	59	—	58	—	—	53	61	—	53.7
62	ウィスコンシン大学 (ミルウォーキー校)	—	55	—	33	62	—	62	56	—	53.6
63	ケンタッキー大学	46	42	48	55	62	—	55	61	56	53.6
64	ノース・ウェスタン大学	—	59	40	61	—	59	46	59	—	53.4
65	サウス・カロライナ大学 (コロンビア校)	—	—	44	63	62	—	42	42	—	53.4
66	サウス・フロリダ大学	—	45	61	—	—	62	—	46	—	53.3
67	フロリダ州立大学	—	—	41	61	59	—	62	52	50	53.3
68	パーデュー大学 (メイン・キャンパス校)	60	—	55	48	—	61	55	54	—	53.2
69	オレゴン大学	—	58	62	61	47	48	60	52	—	53.2
70	バンダービルト大学	—	—	—	58	—	—	60	48	—	53.1
71	アラバマ大学 (バーミングハム校)	—	—	—	—	—	—	—	51	—	53.1
72	アリゾナ大学	—	48	42	54	62	55	62	54	41	53.0
73	ユタ州立大学	—	—	—	45	—	—	—	47	—	53.0
74	テキサス大学 (ダラス校)	—	—	—	—	—	—	—	47	58	52.8
75	アクロン大学	—	—	—	—	—	—	—	60	40	52.8
76	リーハイ大学	—	—	—	63	—	—	—	42	—	52.6
77	ブラウン大学	—	51	—	57	—	—	42	50	—	52.5
78	南イリノイ大学 (カーボンデール校)	—	61	55	49	—	—	43	53	—	52.4
79	ジョージア大学	44	54	53	59	59	57	37	47	55	52.2
80	アイオワ大学	—	34	55	60	51	61	37	56	—	52.2
81	ツレーン大学	—	45	—	—	—	—	—	60	—	52.1
82	アリゾナ州立大学	—	32	60	62	59	—	58	46	48	52.1
83	テキサス農業・工業大学	39	55	58	48	57	—	61	52	—	52.0
84	オクラホマ大学 (ノーマン校)	—	60	54	55	50	—	45	52	—	51.8
85	ミシシッピ大学	—	—	—	54	—	—	62	39	—	51.7
86	マサチューセッツ大学 (アムハースト校)	59	43	41	51	—	61	53	60	—	51.7
87	カリフォルニア大学 (サンタ・クルス校)	—	51	—	61	—	61	—	48	—	51.6
88	ヒューストン大学	—	—	—	54	—	—	55	45	—	51.5
89	テキサス大学 (オースチン校)	—	61	47	53	59	32	56	56	54	51.5
90	カンザス大学	—	50	61	48	52	53	62	49	—	51.4
91	ジョンズ・ホプキンス大学	—	61	—	39	—	60	56	58	42	51.4
92	ミネソタ大学 (ツイン・シティズ校)	57	47	44	60	55	42	53	57	—	51.4
93	ルイスビル大学	—	—	—	—	—	—	—	49	54	51.3
94	マイアミ大学 (MU)	—	—	—	—	—	—	—	51	—	51.2
95	ノース・イースタン大学	—	—	—	—	—	—	51	61	46	51.1
96	コロラド大学 (ボルダー校)	—	55	41	38	58	44	57	59	—	51.0
97	ピッツバーグ大学 (ピッツバーグ・キャンパス校)	—	46	50	55	—	—	59	45	—	51.0
98	ボストンカレッジ	—	—	—	56	—	—	49	57	—	51.0
99	バーモント大学	—	—	—	—	—	—	—	51	—	50.9
100	マイアミ大学 (UM)	—	—	52	—	—	—	39	50	—	50.8
101	メリーランド大学 (カレッジ・パーク校)	39	—	45	53	47	61	42	53	59	50.7
102	ミズーリ大学 (カンザスシティ校)	—	—	—	52	—	—	—	60	40	50.6
103	オハイオ州立大学 (メイン・キャンパス校)	42	37	52	51	56	57	60	55	46	50.5

104	クラーク大学	-	-	-	-	49	-	-	52	-	-	50.4
105	サン・ディエゴ州立大学 (UC サンタ・バーバラ校)	-	-	-	-	50	-	-	-	-	-	50.4
106	インディアナ大学 (ブルーミントン校)	-	36	56	56	27	45	62	51	58	60	50.0
107	フロリダ国際大学	-	-	-	57	-	-	53	52	43	44	50.0
108	ジョージア州立大学	-	-	61	54	-	-	54	44	-	37	49.8
109	バージニア工業州立大学	59	-	-	-	-	-	-	48	38	53	49.5
110	ウェスタン・ミシガン大学	-	-	-	62	-	-	52	54	29	50	49.5
111	ワシントン州立大学	-	39	56	51	-	-	43	51	-	57	49.4
112	オハイオ大学 (メイン・キャンパス校)	-	-	-	53	-	-	-	46	-	-	49.3
113	カリフォルニア大学 (サンタ・バーバラ校)	-	57	59	47	46	37	36	58	-	53	49.2
114	フロリダ大学	55	42	61	45	37	47	52	46	-	58	49.1
115	マルケット大学	-	-	-	63	-	-	-	35	-	-	48.9
116	カリフォルニア大学 (アービン校)	-	59	-	37	-	-	47	58	51	43	48.9
117	イリノイ大学 (アーバナシャンペイン校)	32	51	56	53	53	37	59	45	-	49	48.4
118	ワイオミング大学	-	-	-	58	-	-	-	38	-	-	48.3
119	サザン・ミシシッピ大学	-	-	45	-	-	-	-	52	-	-	48.3
120	ニュー・メキシコ大学 (メイン・キャンパス校)	-	39	50	42	-	31	61	55	-	57	47.8
121	セントラル・フロリダ大学	-	-	-	-	-	-	-	35	60	-	47.8
122	バージニア大学	-	58	-	43	-	-	44	53	-	41	47.8
123	ミズーリ大学 (コロンビア校)	46	37	61	45	-	-	47	56	-	42	47.7
124	ニューヨーク州立大学 (ビンガムトン校)	-	36	-	42	-	-	60	59	-	40	47.7
125	ノース・カロライナ州立大学	-	-	-	42	-	-	-	32	64	53	47.5
126	オクラホマ州立大学 (メイン・キャンパス校)	30	-	-	29	62	-	-	60	-	56	47.3
127	メリーランド大学 (ボルティモア校)	-	-	-	-	-	-	-	48	47	-	47.2
128	ケント州立大学 (メイン・キャンパス校)	-	27	50	-	47	-	-	61	-	48	46.9
129	南カリフォルニア大学	-	-	50	43	41	46	52	51	43	48	46.9
130	クリーヴランド州立大学	-	-	-	-	-	-	-	-	47	-	46.8
131	ネバダ大学 (リノ校)	-	61	-	-	-	-	38	42	-	-	46.8
132	イリノイ大学 (シカゴ校)	-	51	-	47	-	-	50	49	42	40	46.4
133	ノーザン・イリノイ大学	-	-	-	49	-	-	-	43	-	-	46.1
134	コネチカット大学	52	53	36	44	43	51	50	33	-	52	46.0
135	タフツ大学	-	-	-	-	-	-	-	46	-	-	45.7
136	南メソディスト大学	-	39	-	46	-	-	-	52	-	-	45.4
137	ルイジアナ州立大学農業・工業カレッジ	40	-	55	57	32	-	42	44	-	44	45.0
138	ワシントン大学	-	42	46	45	29	43	53	53	-	48	45.0
139	ブランダイズ大学	-	31	-	39	-	-	53	61	-	40	44.8
140	ウィスコンシン大学 (マディソン校)	41	28	45	49	50	38	60	46	-	47	44.8
141	バージニア・コモンスウェルス大学	-	-	-	-	-	-	-	56	34	-	44.7
142	ミズーリ大学 (セントルイス校)	-	-	-	-	-	-	35	55	-	-	44.7
143	カリフォルニア大学 (サン・ディエゴ校)	-	50	33	41	-	48	55	49	-	36	44.4
144	クラークソン州立大学	-	-	-	44	-	-	-	-	-	-	44.3
145	メンヒス大学	-	-	36	-	-	-	-	51	-	-	43.9
146	ニューメキシコ州立大学 (メイン・キャンパス校)	-	-	43	-	-	-	-	45	-	-	43.8
147	ニューヨーク大学	-	50	27	56	-	44	57	43	29	46	43.8
148	ロヨラ大学 (シカゴ校)	-	-	-	-	-	-	35	54	-	41	43.5
149	ユタ大学	-	62	57	32	32	-	29	48	-	-	43.2
150	ジョージタウン大学	-	-	-	46	-	46	36	-	-	-	42.7
151	ニュー・ハンブシャー大学	-	-	-	32	-	-	-	54	-	41	42.5
152	コロラド州立大学	39	-	-	-	-	-	-	46	-	-	42.4
153	ロードアイランド大学	52	-	-	-	-	-	-	32	-	-	42.1
154	テンブル大学	-	30	52	33	-	-	42	57	-	38	41.9
155	ラトガーズ州立大学 (ニュー・ブランズウィック校)	-	33	27	44	32	52	51	42	51	43	41.6
156	フォードハム大学	-	-	-	33	-	-	-	43	-	49	41.6
157	ジョージ・ワシントン大学	-	-	-	29	-	-	44	46	45	-	40.9
158	プリンマーカレッジ	-	-	-	-	-	-	-	41	-	-	40.9
159	ウェイン大学	-	54	28	47	-	-	41	34	-	40	40.8
160	ボストン大学	-	52	-	34	51	30	35	44	-	37	40.4
161	ニューヨーク州立大学 (オールバニー校)	-	42	-	33	-	-	35	49	35	44	39.5
162	ニューヨーク州立大学 (バッファロー校)	-	39	37	33	41	35	35	47	-	48	39.3
163	ケーズ・ウェスタン・リザーブ大学	-	35	-	-	-	-	-	44	-	39	39.3
164	ハワイ大学 (マノア校)	-	45	24	35	32	45	36	50	-	36	37.9
165	アメリカン・カトリック大学	-	-	-	-	-	-	35	39	-	-	37.5
166	コロラド大学 (デンバー校・健康科学センター)	-	-	-	-	-	-	-	38	36	-	37.4
167	カリフォルニア大学 (サンフランシスコ校)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	37	36.7
168	ハーワード大学	-	-	48	-	-	-	32	31	-	36	36.6
169	ブリガムヤング大学	-	-	-	-	-	-	-	33	-	40	36.5
170	アメリカン大学	-	35	-	29	-	-	35	35	43	-	35.2
171	テキサス大学 (サウスウェスタン医学センター・ダラス)	-	-	-	-	-	-	-	35	-	-	35.0
172	ニューヨーク市立大学 (グランド・センター校)	-	39	-	33	-	32	30	34	-	37	34.2

173	ライト州立大学（メイン・キャンパス校）	-	-	-	-	-	-	-	34	-	-	33.7
174	オールド・ドミンゴ大学	-	-	-	-	-	-	32	35	34	-	33.6
175	ドゥケーヌ大学	-	-	-	-	-	-	-	33	-	-	33.1
176	ノース・テキサス大学	-	-	-	-	-	-	33	30	-	37	33.0
177	アデルヒイ大学	-	-	-	-	-	-	-	31	-	-	31.5
178	ダラス大学	-	-	-	-	-	-	31	-	-	-	31.3
179	クレアモント大学院大学	-	-	-	33	-	-	31	30	-	-	31.1
180	ローマ・リンダ大学	-	-	-	-	-	-	-	31	-	-	30.6
181	イリノイ工科大学	-	-	-	-	-	-	-	28	-	-	28.3

## V. 要 約 と 課 題

本稿では2010年に刊行された『アメリカにおける研究博士プログラムのデータベース評価』の調査結果の研究能力を示す評価指標である「教授陣の質」と教育能力を示す評価指標である「大学院教育の有効性」を使用してアメリカ大学院の社会行動科学系領域の序列化を試みた。

大学毎の「教授陣の質」を使用した分析結果をみるとカルフォルニア工科大学、ハーバード大学、スタンフォード大学、ベイラー大学、カリフォルニア大学（バークリー校）、マサチューセッツ工科大学、ペンシルベニア大学、ジョンズ・ホプキンス大学、プリンストン大学、ミシガン大学（アンアバー校）、コンロビア大学（ニューヨーク・シティ校）が上位にランクされていた。また「大学院教育の有効性」を使用した分析結果をみるとベイラー大学、カリフォルニア工科大学、スタンフォード大学、プリンストン大学、ハーバード大学、カリフォルニア大学（ロサンゼルス校）、マサチューセッツ工科大学、イエール大学、シカゴ大学、カリフォルニア大学（バークリー校）が上位にランクされていた。

専門分野毎に「教授陣の質」を使用した分析結果をみると農業・人的資源経済学の分野ではカルフォルニア大学（バークリー校）が、人類学の分野ではペンシルベニア州立大学が、コミュニケーション論の分野ではスタンフォード大学などが、経済学の分野ではカリフォルニア工科大学などが、地理学の分野ではボストン大学が、言語学の分野ではジョン・ホプキンス大学が、政治学の分野ではハーバード大学などが、心理学の分野ではハーバード大学が、公共政策・行政学の分野ではジョンズ・ホプキンス大学が、社会学の分野ではペンシルベニア大学などが、それぞれ上位を占めていた。「大学院教育の有効性」を使用した分析結果をみると農業・人的資源経済学の分野ではカンザス州立大学が、人類学の分野ではスタンフォード大学などが、コミュニケーション論の分野ではオレゴン大学が、経済学の分野ではカリフォルニア工科大学などが、地理学の分野ではカンザス州立大学などが、言語学の分野ではカリフォルニア大学（ロサンゼルス校）などが、政治学の分野ではスタンフォード大学などが、心理学の分野ではプリンストン大学が、公共政策・行政学の分野ではノース・カロライナ州立大学が、社会学の分野ではベイラー大学が、それぞれ上位を占めていた。

最後に残された課題について簡単に触れておこう。本稿では、評価指標として「教授陣の質」と「大学院教育の有効性」を使用してアメリカ大学院の社会行動科学系領域の評価を試みたが、「教授陣の質」と「大学院教育の有効性」の指標の有用性及び妥当性についてさらなる検討が必要

であろう。また本研究は非常に限られた資料に基づいて、アメリカ大学院の社会行動科学系領域の評価を考察したが、この課題をあきらかにするには、さらに体系的に資料を収集して分析する必要があるだろう。

## 注

- 1) 文部科学省, 「大学改革実行プラン」(答申), 中央教育審議会大学分科会大学教育部会, pp. 1~33, (2012)。
- 2) Hughes, R.M., A study of the Graduate Schools in America, Miami University Press, (1925)。
- 3) Cartter, A.M., An Assessment of Quality in Graduate Education, American Council on Education. (1966)。
- 4) Roose, K.D. and Anderson, C.J., A Rating of Graduate Program, American Council on Education, (1970)。
- 5) Margulies, R.Z. and Blau, P., “America’s Leading Professional Schools.” Change 5.1973.21-27; Blau, P. and Margulies, R.Z., “The Reputations of American Professional Schools.” Change 6, 42-47, (1974-75)。
- 6) Jones, Lyle V., ED.; And Others; An Assessment of Research-Doctorate Programs in the United States: Vol 1. ~5. National Academy Press (1982)。この資料に関する詳細および統計的再解析結果については、奥川義尚「大学の評価研究 — アメリカにおける大学院の場合 - 1 -」『COSMICA 地域研究』17号, 京都外国語大学, pp. 1-33. (1987)。奥川義尚「大学の評価研究 — アメリカにおける大学院の場合 - 2 -」『COSMICA 地域研究』18号, 京都外国語大学, pp. 1-32. (1988)。奥川義尚「大学の評価研究 — アメリカにおける大学院の場合 - 3 -」『COSMICA 地域研究』21号, 京都外国語大学, pp. 95-104. (1991)。奥川義尚「大学の評価研究 — アメリカにおける大学院の場合 - 4 -」『COSMICA 地域研究』22号, 京都外国語大学, pp. 137-144. (1992)。奥川義尚「大学の評価研究 — アメリカにおける大学院の場合 - 5 -」『研究論叢』41号, 京都外国語大学, pp. 426-434. (1993), などを参照のこと。
- 7) Goldberger, M.L., Maher, B.A., and Flattau, P.E. (eds.). Research-Doctorate Programs in the United States. Continuity and Change. National Academy Press (1995)。この資料に関する詳細および統計的再解析結果については、奥川義尚「「大学院教育の有効性」からみたアメリカにおける研究博士プログラム評価」『COSMICA 地域研究』26号, 京都外国語大学, pp. 75-89. (1997)。奥川義尚「大学評価の研究 — アメリカにおける大学院の場合 —」『関西教育学会紀要』第21号, 関西教育学会, pp. 136-140. (1997)。奥川義尚「「教授陣の質」からみたアメリカにおける研究博士プログラム評価」『研究論叢』49号, 京都外国語大学, pp. 309-319. (1997)。奥川義尚「「教授陣の質」と「大学院教育の有効性」の両指標の総合によるアメリカにおける研究博士プログラム評価」『COSMICA 地域研究』27号, 京都外国語大学, pp. 69-82. (1998)。奥川義尚「現代アメリカ大学院における専門分野別研究博士プログラム評価 (その1) — 人文科学系領域の場合 —」『研究論叢』51号, 京都外国語大学, pp. 341-355. (1998)。奥川義尚「現代アメリカ大学院における専門分野別研究博士プログラム評価 (その2) — 生物科学系領域の場合 —」『研究論叢』52号, 京都外国語大学, pp. 341-355. (1999)。奥川義尚「現代アメリカ大学院における専門分野別研究博士プログラム評価 (その3) — 工学系領域の場合 —」『研究論叢』53号, 京都外国語大学, pp. 169-183. (1999)。奥川義尚「現代アメリカ大学院における専門分野別研究博士プログラム評価 (その4) — 数学・物理学系領域の場合 —」『研究論叢』54号, 京都外国語大学, pp. 193-210. (1999)。奥川義尚「現代アメリカ大学院における専門分野別研究博士プログラム評価 (その5) — 社会・行動科学系領域の場合 —」『研究論叢』55号, 京都外国語大学, pp. 201-219. (2000), などを参照のこと。

と。

- 8) Jones, Lyle V., ED.; And Others; An Assessment of Research-Doctorate Programs in the United States: Vol 1.~5. National Academy Press. (1982) および Goldberger, M.L., Maher, B.A., and Flattau, P.E. (eds.). Research-Doctorate Programs in the United States. Continuity and Change. National Academy Press. (1995)。この両資料を使用した時系的評価結果については、奥川義尚「現代アメリカ大学院研究博士プログラム評価の時系的分析（その1）——「大学院教育の有効性」の指標による分析結果」——『研究論叢』56号、京都外国語大学、pp.163-181. (2001)。奥川義尚「現代アメリカ大学院研究博士プログラム評価の時系的分析（その2）——「教授陣の質」の指標による分析結果」——『研究論叢』57号、京都外国語大学、pp.129-150. (2001)。奥川義尚「現代アメリカ大学院研究博士プログラム人文科学系領域評価の時系的分析（その1）——「大学院教育の有効性」の指標による分析結果」——『研究論叢』58号、京都外国語大学、pp.129-150. (2002)。奥川義尚「現代アメリカ大学院研究博士プログラム人文科学系領域評価の時系的分析（その2）——「教授陣の質」の指標による分析結果」——『研究論叢』59号、京都外国語大学、pp.247-260. (2002)。奥川義尚「現代アメリカ大学院研究博士プログラム生物科学系領域評価の時系的分析（その1）——「大学院教育の有効性」の指標による分析結果」——『研究論叢』60号、京都外国語大学、pp.193-207. (2003)。奥川義尚「現代アメリカ大学院研究博士プログラム生物科学系領域評価の時系的分析（その2）——「教授陣の質」の指標による分析結果」——『研究論叢』61号、京都外国語大学、pp.101-116. (2003)。奥川義尚「現代アメリカ大学院研究博士プログラム工学系領域評価の時系的分析（その1）——「大学院教育の有効性」の指標による分析結果」——『研究論叢』62号、京都外国語大学、pp.83-97. (2004)。奥川義尚「現代アメリカ大学院研究博士プログラム工学系領域評価の時系的分析（その2）——「教授陣の質」の指標による分析結果」——『研究論叢』63号、京都外国語大学、pp.91-106. (2004)。奥川義尚「現代アメリカ大学院研究博士プログラム数学・物理学系領域評価の時系的分析（その1）——「大学院教育の有効性」の指標による分析結果」——『研究論叢』64号、京都外国語大学、pp.167-185. (2005)。奥川義尚「現代アメリカ大学院研究博士プログラム数学・物理学系領域評価の時系的分析（その2）——「教授陣の質」の指標による分析結果」——『研究論叢』65号、京都外国語大学、pp.149-168. (2005)。奥川義尚「現代アメリカ大学院研究博士プログラム社会・行動科学系領域評価の時系的分析（その1）——「大学院教育の有効性」の指標による分析結果」——『研究論叢』66号、京都外国語大学、pp.165-183. (2006)。奥川義尚「現代アメリカ大学院研究博士プログラム社会・行動科学系領域評価の時系的分析（その2）——「教授陣の質」の指標による分析結果」——『研究論叢』67号、京都外国語大学、pp.201-220. (2006)、などを参照のこと。
- 9) 大学教授陣の特質を示す指標群は、(教授1人当たりの著書の数、論文引用数(人文科学系を除く)、外部資金を獲得した教授陣の割合、学際的研究への関与、教授陣の人種的・民族的多様性、教授陣の男女比率、学術的褒賞や名声による教授陣の評価)の7つによって構成されている。
- 10) 大学院生の特質を示す指標群は、(新入学生のGREの平均得点、全学財政的支援を受けた学生の割合、外部資金を受けた学生の割合、学生の著書や学会発表数、在籍学生の人種的・民族的多様性、在籍学生の男女比率、留学生の受け入れ)の7つによって構成されている。
- 11) 大学院教育の有効性を示す指標群は、(過去5年間の博士号取得者の平均人数、期間内に博士課程を修了した学生数(人文科学系以外は6年、人文科学系は8年)、学位取得年数、修了後の就職(アカデミックな分野での就職または博士課程取得後の特別奨学金受給者)、個人研究室のある学生の割合、大学等による健康保険料受給者の割合、大学等による学生支援受給者数)7つによって構成されている。



## 引用・参考文献

- Jones, Lyle V. and Others (eds.) *An Assessment of Research-doctorate Programs in the United States: Vol. 1-5*, National Academy Press. (1982)
- 江原武一・奥川義尚「アメリカにおける大学院の学問的生産性とその規定条件」『大学研究ノート』No.66, 広島大学 大学教育研究センター, pp. 57-68. (1986)
- 奥川義尚「現代アメリカ大学院のアカデミック・プロダクティビティに関する統計的分析」『教育学研究』第54巻第2号, 日本教育学会, pp. 22-33. (1987)
- 奥川義尚「現代アメリカ大学院の学問的生産性に関する統計的分析」『大学論集』第19集, 広島大学 大学教育研究センター, pp. 213-233. (1989)
- 江原武一・奥川義尚『アメリカの大学評価 大学院教育の専門分野別評価を中心に』(『高等教育研究叢書』第19号), 広島大学 大学教育研究センター, (1992)
- 奥川義尚・江原武一「研究大学の学問的生産性の評価と規定条件」有本章編『「学問中心地」の研究』東信堂, pp. 243-266. (1994)
- 江原武一「大学院の生産性」江原武一『大学のアメリカ・モデル—アメリカの経験と日本』玉川大学出版部, pp. 177-204. (1994)
- Goldberger, M.L., Maher, B.A., and Flattau, P.E (eds.). *Research-Doctorate Programs in the United States: Continuity and Change*, National Academy Press. (1995)
- 奥川義尚・江原武一「調査資料—アメリカにおける研究博士プログラム(1995年の概略) 桑原敏明『大学評価に関する総合的研究』筑波大学, pp. 1-9. (1996)
- 奥川義尚・江原武一・巳波義典『現代アメリカの大学院教育の専門分野別評価—1993年調査を中心にして』京都外国語大学国際言語平和研究所, pp. 1-104. (1997)
- 奥川義尚「アメリカの大学院—アメリカの大学院の事例研究」江原武一・馬越徹編著『大学院の改革』(講座「21世紀の大学・高等教育を考える」第4巻) 東信堂, pp. 183-200. (2004)
- Jeremiah P. Ostriker, Charlotte V. Kuh, and James A. Voytuk (eds.). *A Data-Based Assessment of Research-Doctorate Programs in the United States*, National Academy Press. (2010)
- 国際シンポジウム「大学院教育の実質化—工学分野における世界の取り組みを例に考える—」関連資料, 企画・事務局(東工大博士一貫コース事務局), (2011)
- 奥川義尚・江原武一・村上正行『現代アメリカの大学院教育の専門分野別評価—2006年調査を中心にして』京都外国語大学点検評価調査室, pp. 1-174. (2011)
- 奥川義尚「現代アメリカ大学院の評価研究, 「大学院評価」指標による分析結果(その1)—農学科学系領域と生物・健康科学系領域の場合—」, 『研究論叢』第78号, 京都外国語大学, pp. 1-13. (2012)
- 奥川義尚「現代アメリカ大学院研究博士プログラム人文科学系領域評価の時系的分析, 1982年度調査と2006年度調査を中心として(その1)—「大学院教育の有効性」の指標による分析結果—」, 『PROBLEMATA』第21号, 京都外国語大学, pp. 22-34. (2012)
- 奥川義尚「現代アメリカ大学院の評価研究, 「大学院評価」指標による分析結果(その2)—工学系領域と人文科学系領域の場合—」, 『研究論叢』第79号, 京都外国語大学, pp. 23-35. (2012)
- 奥川義尚「現代アメリカ大学院の評価研究, 「大学院評価」指標による分析結果(その3)—物理学・数学系と社会・行動科学系領域の場合—」, 『研究論叢』第80号, 京都外国語大学, pp. 1-14. (2012)
- 奥川義尚「現代アメリカ大学院研究博士プログラム人文科学系領域評価の時系的分析, 1982年度調査と2006年度調査を中心として(その2)—「教授陣の質」の指標による分析結果—」, 『PROBLEMATA』第22号, 京都外国語大学, pp. 1-15. (2013)



奥川義尚 「「現代アメリカ大学院の評価研究, 大学院評価」指標による分析結果 (その4)」, 『研究論叢』第81号, 京都外国語大学, pp. 23-34. (2013)

奥川義尚 「「現代アメリカ大学院の評価研究, 「教授陣の質」と「大学院教育の有効性」の指標による分析結果 (その1)」—— 農業科学系領域の場合 ——, 『研究論叢』第82号, 京都外国語大学, pp. 1-11. (2014)

奥川義尚 「現代アメリカ大学院研究博士プログラム社会科学系領域評価の時系的分析, 1982年度調査と2006年度調査を中心として (その1) —— 「大学院教育の有効性」の指標による分析結果 ——」, 『PROBLEMATA』第23号, 京都外国語大学, pp. 1-15. (2014)

奥川義尚 「「現代アメリカ大学院の評価研究, 「教授陣の質」と「大学院教育の有効性」の指標による分析結果 (その2)」—— 生物学・健康科学系領域の場合 ——, 『研究論叢』第83号, 京都外国語大学, pp. 25-39. (2014)

